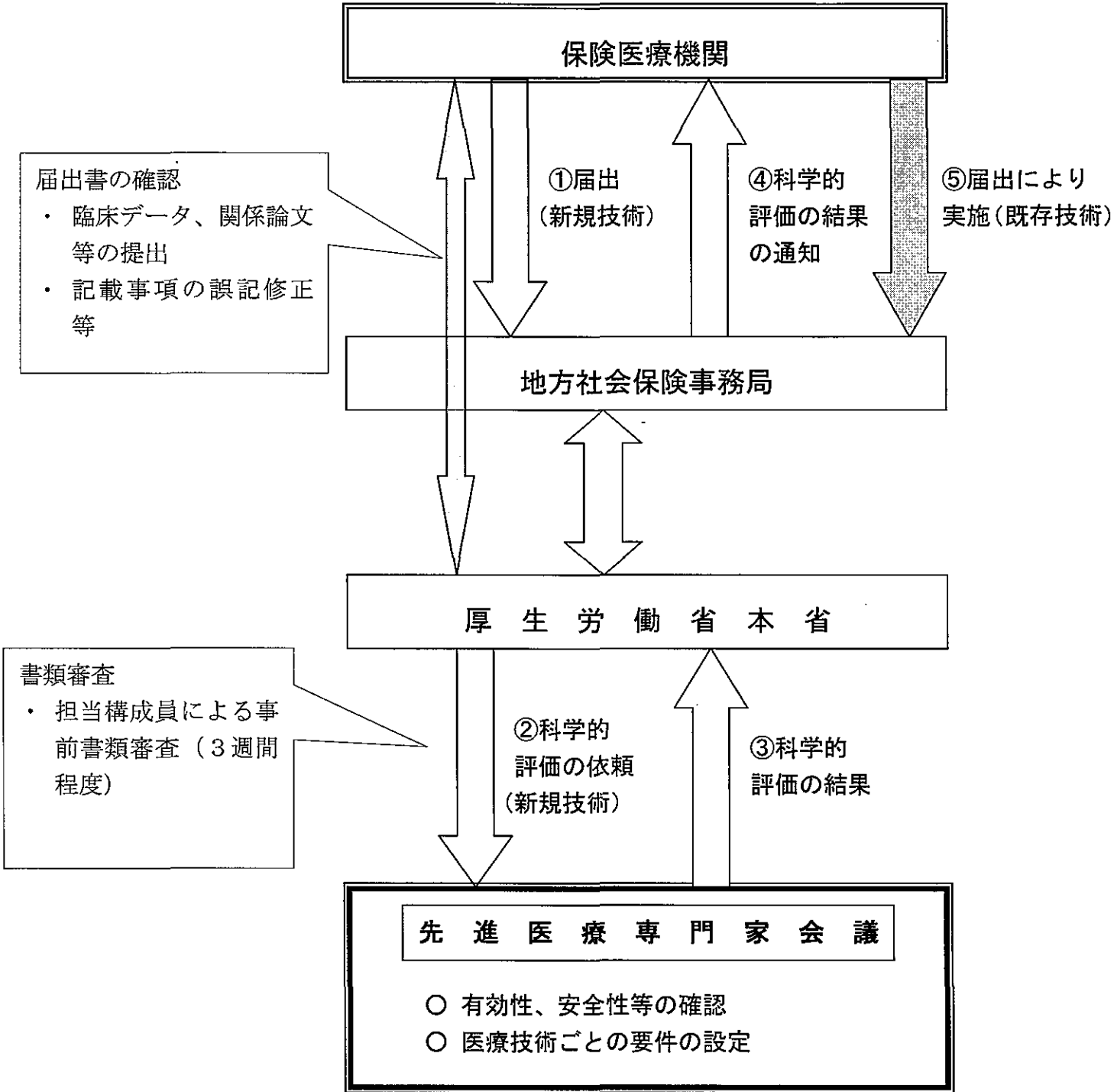
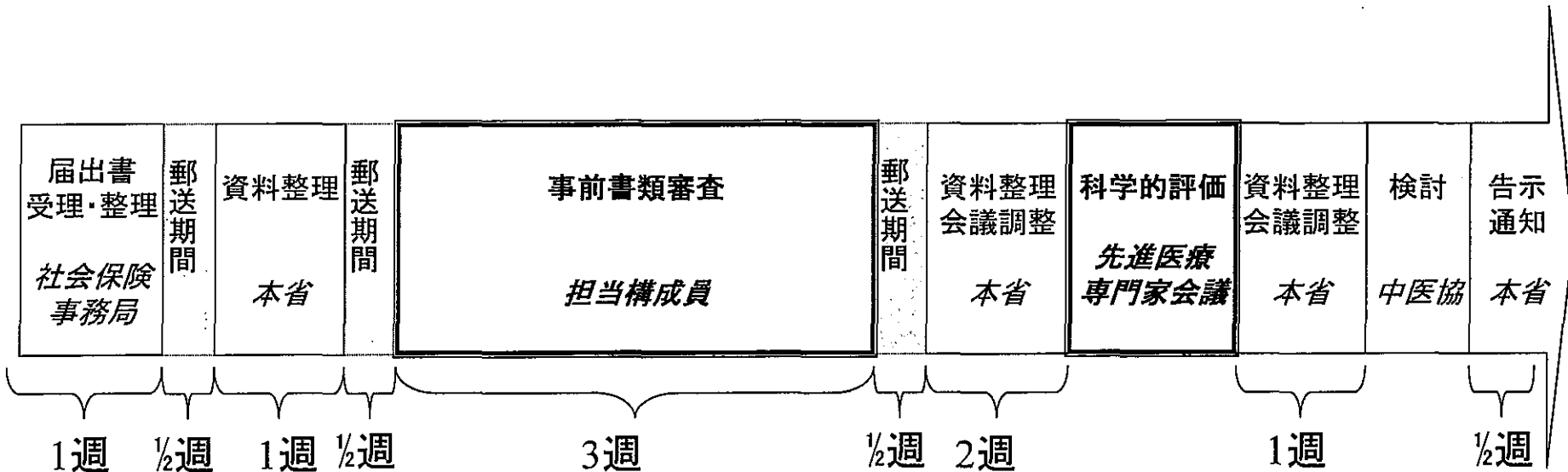
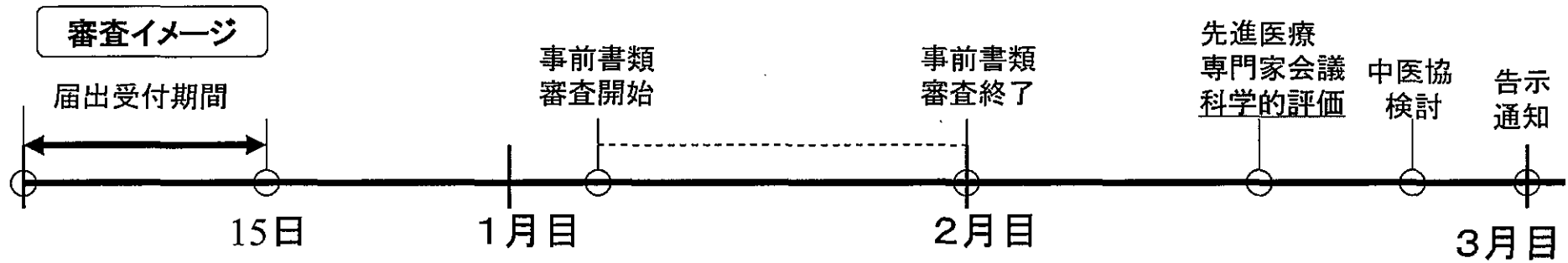


先進医療の科学的評価の流れ（案）



(注) 中央社会保険医療協議会には、新規技術の検討結果を報告する。

先進医療の科学的評価のスケジュール(案)(イメージ図)



計 約10週間

先進医療を評価する際の基準について(案)

1 先進性

必ずしも高度である必要はないが、既存の技術と異なった新しいものであること。

又は既存技術の部分的改善であってもこれに準じて取り扱うことが適当と判断されるもの。

2 有効性

既存の技術に比して、優れた効果を有するものであること。

3 安全性

期待し得る効果に比して、危険性が小さいものであること。

4 効率性

既存の技術に比して、優れた費用対効果を有するものであること。

5 社会的妥当性

実施に当たって、大方の国民の納得が得られるものであること。

6 検討の必要性

保険診療としての有用性について、なお、検討を加える必要があるものであること。

7 除外

研究開発段階にある技術は対象としないこと。

先進医療評価用紙（第1号）

先進技術としての適格性（案）

先進医療 の名称	(事務局で記載)
適応症	A. 妥当である。 B. 妥当でない。(理由及び修正案:)
有効性	A. 従来技術を用いるよりも大幅に有効。 B. 従来技術を用いるよりもやや有効。 C. 従来技術を用いるのと同程度、又は劣る。
安全性	A. 問題なし。(ほとんど副作用、合併症なし) B. あまり問題なし。(軽い副作用、合併症あり) C. 問題あり(重い副作用、合併症が発生することあり)
技術的 成熟度	A. 当該分野を専門とし、経験を積んだ医師であれば行える。 B. 当該分野を専門とし、数多く経験を積んだ医師であれば行える。 C. 当該分野を専門とし、かなりの経験を積んだ医師を中心とした診療体制をとっていないと行えない。
社会的妥当性 (社会的倫理 的問題、治験 状況等)	A. 倫理的問題等はない。 B. 倫理的問題等がある。
現時点での 普及性	A. 罹患率、有病率から勘案して、かなり普及している。 B. 罹患率、有病率から勘案して、ある程度普及している。 C. 罹患率、有病率から勘案して、普及していない。
効率性	既に保険導入されている医療技術に比較して、 A. 大幅に効率的。 B. やや効率的。 C. 効率性は同程度又は劣る。
将来の保険収 載の必要性	A. 将来的に保険収載を行うことが妥当。 B. 将来的に保険収載を行うべきでない。
総 評	総合判定: 適・否 コメント:

備考 この用紙は、日本工業規格A列4番とすること。医療機関名は記入しないこと。